

ひばり幼稚園で豆まき

2月3日の節分の日にはひばり幼稚園では、豆まきを実施しました。

豆をまく前に園長先生から「悪い鬼を追い払って、今年1年、健康に過ごせるようお願いを込めて豆をまいて下さい」とあいさつ。年の数だけ豆を食べたあと、早速、それぞれ手作りした鬼のお面をかぶり、互いに豆を投げ合うなど、さながら鬼合戦の様相を呈していましたが、無事、豆まきが終了し、ひばり幼稚園に平和が訪れました。その後、ガラまきが行われ、園児の皆さんは、大好きなキャンディーやチョコレートなどの美味しいお菓子を両手いっぱいにもらって、ニコニコ顔でした。



薬利小学校で全校探鳥会

2月5日、今年で16回目となった冬の恒例行事「全校探鳥会」が薬利小学校で開催されました。

観察に先立ち、日本野鳥の会栃木支部長の河地辰彦さんから白鳥の生態についての講義があり、「冬の厳しい自然の中にも多くのエサがあるので、安易に給餌するのは白鳥のためにならない」などのお話がありました。児童の皆さんは4班に分かれて学校周辺を約1時間30分にわたり、双眼鏡や図鑑を手にバードウォッチングを楽しみました。

途中、ツグミやカシラダカの可愛らしい姿や、ノスリとカラスの空中戦に児童の皆さんは歓声を上げたりしていました。



青少年健全育成町民大会

2月14日、小川総合福祉センターあじさいホールにて、青少年健全育成町民大会が開催されました。

青少年育成協議会の薄井忠恵会長からは「情緒豊かな子供たちを育てるため、地域の皆さんのご支援・ご協力をお願いします」とあいさつ。続いて青少年健全育成に関する各種団体の功労者などの表彰式と優良子ども会の活動事例発表会が行われました。

なお、表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)
 青少年育成功労者表彰
 薄井博美(小川)、森清一(小口)、薄井金司(久那瀬)、松山一夫(小川)

善行少年表彰
 伴栄輝(浄法寺)、岩崎航(浄法寺)
 優良子ども会表彰
 久那瀬子ども会



横峯吉文氏による
ヨコミネ式教育法の講演会を開催

青少年健全育成町民大会において、プロゴルファーの横峯さくら選手の叔父で、鹿児島県で3つの保育園を経営し、卒園までに園児全員が逆立ちで歩いたり、5歳児で漢字が読み書き出来たりと、独自の幼児教育法がテレビでも話題となっている横峯吉文氏を講師に迎え、『だめな子なんていない 落ちこぼれを作らない方法語ります。』と題した講演会が開催されました。

横峯氏からは、本来の子ども自身を持つ、成長したい欲求をいかに引き出し、その可能性を信じるかが重要で、それが教育で一番重要な「自立」につながるというお話に町内外から集まった約300人の父兄や教育関係者は、熱心に聞き入っていました。



第5回
児童生徒版画コンクール

2月16日、馬頭広重美術館視聴覚
研修室にて児童生徒版画コンクールの
表彰式が行われました。

町内の幼稚園、保育園、小中学校
の児童・生徒から出展された931
点の作品の中から、町長賞など13
0点が選ばれ、桑野教育長から表彰
状と記念品が手渡されました。

なお、主な受賞者は次のとおりで
す。(敬称略)

町長賞 佐藤 駿(馬頭小5年)
教育長賞 和泉健斗

(小川第1保育園)
佐藤純華(大内小2年)
藤浪優斗(馬頭小6年)
桑野宏輔(小川小6年)
田代想史(小川小6年)



小川小学校で
防犯教室を実施

2月18日、小川小学校では北関東
総合警備保障(株)の協力により、1・
2年生を対象とした防犯教室を開催
しました。

「安心して登下校」と題した授業
では、プロの警備員を招き、知らない
人から声をかけられた場合の5か
条「(ついて)行かない」「(車に)
乗らない」「(なにかあったら)大声
を出す」「(その場から)すぐ逃げる」
、「(別の大人に)知らせる」を伝授。
見た目で人の善し悪しを判断せず、
「自分の身は自分で守る」という危
険回避の心構えを学びました。

風土記の丘成果発表会

2月21日、なす風土記の丘資料館
小川館で、当施設を利用して体験学
習した中学生や歴史解説員養成講座
の受講生による発表会が開催され、
約70名の方が参加しました。

小川中1年生の皆さんは、「染め
物の歴史」や「古代のオシャレ」な
ど、総合学習の授業で地域の歴史を
学んだ成果をグループ発表しました。

発表会に続き、まほらトーンズに
よるミニコンサートや資料館で収穫
した古代米で作った料理の試食会、
午後には曲田遺跡(真岡市)や舟場
平遺跡(当町)の遺跡発表会が行わ
れ、参加者の皆さんは、学芸員の説
明を興味深そうに聞いていました。



あきやまだしさんの
絵本ライブ

町教育委員会と図書館の共催によ
る「あきやまだしさんの絵本ライ
ブ」が、小川総合福祉センターすこ
やか共生館で2月28日に開催され、
町内外から約150人の親子連れが
参加しました。

あきやまさんは、娘が生まれたの
を契機に漫画家から絵本作家に転身
し、NHKでも放送された「パンツ
ばんくろう」や「まめうし」、「たま
ごにいちやん」シリーズなど、約1
30作品を書いています。

あきやまさんの独特の読み聞かせ
方や歌い方などに、子供たちだけで
無くお父さんやお母さんにも大うけ
で、会場は大いに盛り上がりました。

